

追分小学校 活動報告

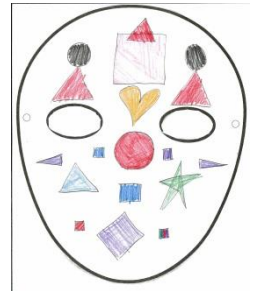
1 活動内容

○5年生 Lesson 5 What do you like? 友達にインタビューしよう

(1) 導入

チャンツを行う。「What color do you like?」

既習の色と形に関する単語を ALT と一緒に唱えたり、カードを見て唱えたりする。



子供が使った仮面

(2) 活動

ALT が母国でのハロウィンについて、プレゼンテーションソフトを使って紹介する。子供たちは自分達がこれから行おうとしているハロウィンの様子と比べながら聞いたり、説明を聞いて疑問に思ったことを質問したりして、ハロウィンについて関心を高めた。仮装をすることを聞いた後で、ALT からの、用意した何も書かれていない仮面の用紙に飾り付けをしてハロウィンを楽しもうという提案に大喜びで活動を始めた。導入で使った色と形のカードを見ながら、自分の好きな色や形で飾りを描いていった。自分だけの仮想用の仮面ができ、ハロウィンを楽しみにしている様子が見られた。

仮面の完成後、ALT からの、「Hi, friends!」から切り取ったカードを使って「trick or treat」ゲームをしようという提案をした。ALT と JTE で、次のように、ゲームのデモンストレーションを行った。

①カードの中から自分の好きな色や形を6枚選ぶ。

②仮面を顔の前に掲げ、「trick or treat」と挨拶する。

③ジャンケンをして、負けた人が「What color do you like?」または「What shape do you like?」と勝った人に質問をする。勝った人は、「I like ○○. ○○ please.」と答える。

④負けた人はカードを持っていたら、「Yes, please.」と言って、カードを渡す。持っていなかったら、「I'm sorry.」と答え、そのまま「Bye.」と挨拶をする。

ハロウィンに興味を持った子供たちは、1回のデモンストレーションでゲームのやり方を理解した。キャンディではないが、自分の好きな色や形のカードがもらえることに、目的意識をもつことができた。

ゲームの前に、ALT の後に続いて、「What color do you like?」「What shape do you like?」「I like ○○. ○○ please.」「Yes, please.」「I'm sorry.」とやり取りの言い方の練習を行った。

ゲームが始まると仮面とカードを手に持ち、②→③→④を繰り返し行った。すぐにカードを集めた子もいたが、自分の選んだ色や形を持っていない友達と活動することも少なくなく、いつもよりも多く交流しようとする様子が見られた。

10分間の活動の後、持っているカードの数を確認し、一番多く持っていた子をみんなに紹介した。

2 成果・課題

目的意識を高めたことで、熱心にゲームに取り組む様子が見られた。また、ジャンケンに負けた人が質問をすることになっていたので、カードが欲しいジャンケンに勝った人は言い方を教えて、よりゲームをスムーズに行うことができた。また、いつもは忘れがちな挨拶も確実に言うことができた。外国語活動に苦手意識を持っていた子も楽しんで取り組んでいた。